

第4期上下水道事業経営委員会（第5回）の主な質疑

令和4年2月7日（月）14時00分～15時10分

WEB会議形式での開催

質 疑	答 弁		
【議題1 高岡市上下水道ビジョン見直し版（案）概要】			
A 委員	下水道利用普及促進の取り組みとして、補助金が挙げられていたが、その交付対象は、一般家庭のみか。それとも事業所も含むのか。	上下 水道局	この取り組みは、下水道整備に合わせて新たに供用開始となる家庭や下水道が整備済みの地区において接続していない一般家庭に対して、下水道への接続促進のために創設した制度であるため、事業所は対象としていない。
A 委員	広域連携の推進について、どの市町村との連携を考えているのか。	上下 水道局	現在、富山県内全域の事業体にて広域連携の検討を行っているところである。その中でも呉西6市での広域連携は特に注力しており、今後、近隣事業体との連携を進めていく予定である。
B 委員	脱炭素化へ向けた取り組みの目標として、2050年までのカーボンニュートラル実現が挙げられていた。 昨年開催されたCOP26等において、国では2030年までに温室効果ガスを46%削減（2013年度比）するといった目標が掲げられていることを踏まえ、可能な限り早期の実現を目指して、計画を前倒しする必要があるのではないか。	上下 水道局	可能な限り早期の対応が必要であると考えている。 上下水道局のみならず、本市行政全体として脱炭素化への取り組みを推進するなかで、上下水道事業が主導的に取り組むべき施策を展開していきたいと考えている。

C 委員	北陸電力としてもカーボンニュートラルに対して非常に関心を持っている。 再生可能エネルギーの導入にあたっては、補助金など行政による支援のみならず、民間企業においても、初期費用の一部を固定費用に転嫁する契約形態をとるなど導入の負担を軽減・緩和するための様々な取り組みがなされている。他方、電気自動車の活用についても、リースや維持管理の代行など様々なサービスが提供されている。 高岡市においても、これらの取り組みやサービスを積極的に活用して、脱炭素化に向けた取り組みを推進されたい。 現在の高岡市上下水道局における検討状況は。	上下 水道局	太陽光発電設備については、本市全体において、設置場所やソーラーパネルの形状等の検討がなされているところである。 北陸電力をはじめとする民間事業者からの情報収集を重ねつつ、設置場所の特性に応じた設備・導入手法の検討を進めている。 エコカーの導入についても、日進月歩する技術の進展を注視しつつ、より効果的な種類の車両の導入を検討していく。 そのほか、特に電力使用量の大きい下水道事業に関する取り組みとしては、グリーントランスフォーメーションといった考え方も提唱されているなか、有効な施策を検討していきたい。
C 委員	DX 推進の取り組みとして、水道スマートメーターの活用が挙げられていたが、実証実験の進捗状況は。 また、今後の正式導入への見通しは。	上下 水道局	難検針の解消及び地域見守りへの活用を考えている。 令和4年度からは、ベンダーと共同にて難検針地域での通信環境試験を予定しており、その試験結果を検証しつつ導入へ向けた検討を進めていきたいと考えている。
【議題2 令和4年度の取り組み（案）概要】			
A 委員	令和4年1月1日に施行された改正電子帳簿保存法により、税に関する帳簿書類を電子データとしてクラウド等へ保存することが可能となった。このことにより、税務調査の際にはアーカイブから必要な帳簿データの検索が可能となり、帳簿書類の管理における納税者の負担軽減が図られた。 上下水道料金の請求書や領収書等をクラウド等に保存しておくことで、税務調査の際には、先の説明と同様な効果が図られると思う。 書類の電子化によって様々な利便性が得られると思うが、DX 推進の取り組みとして挙げられている窓口手続きのデジタル化について、今後はどのような利便性の向上を想定して推進していく方針なのか。	上下 水道局	現在、令和4年4月のWEB口座振替サービス開始に向けて、本市納税課などと共同で準備を進めているところである。 ご助言にもあるように、電子化された手続きデータの有効活用をはじめとして、窓口サービスの電子化はお客さまの利便性向上への大きな可能性を秘めていると考えられる。 このことを意識しつつ、単に手続きの簡素化に止まらず、データの更なる発展的な利用による、より一層のお客さまの利便性向上に向けて、多角的な視点から検討を進めてまいりたい。
A 委員	金融機関から受領するデータを納税者に対しても提供されるならば、そのデータを保管して税務調査に備えることもできると思う。 クラウド上にデータを保存されるならば、さらに利便性の向上が図られると思う。		

D 委員	WEB 口座振替サービス利用におけるセキュリティ性の確保について、どのような対策がとられているか。 送受信するデータは暗号化等の対策は施されているか。	上下 水道局	暗号化等を含めたセキュリティ対策として、外部団体からの情報セキュリティマネジメント認証の取得、審査機関からのプライバシーマーク使用許諾の取得、立入制限や外部からの不正アクセスの24時間監視など強固なセキュリティ対策を保持し、安全性を確保している。
		上下 水道局	クラウドシステムに関しては、全国の水道事業者の庁内業務での活用を対象として、水道標準プラットフォームというクラウドサービスが提供されており、本市も導入する予定である。 庁内 LAN 内で運用されている水道関連の業務ソフトウェアを本クラウドサービス上に移植・集約することで、将来的にはビッグデータとしての活用が期待できる。
【報告 和歌山市等の応援活動について】			
B 委員	和歌山市での水管橋崩落事故では約4割の利用者に影響があったとのことだが、高岡市の庄川水管橋が崩落した場合の影響は。	上下 水道局	本市の約7割の水道使用者へは庄川水管橋を経由して配水されているが、融通可能な代替水源（自己水源）を活用することにより、万が一崩落したとしても、断水範囲は限定的になると想定している。
		上下 水道局	現在、本市の水源のほとんどは富山県企業局からの受水によって賄っているが、約20,000m ³ /日の配水能力を持つ自己水源を有しており、緊急時にはこれらを活用することとなる。 また、隣接事業者（砺波市、射水市、氷見市）とは災害対策連絡管を整備しており、水の融通も可能である。
A 委員	加圧式給水車での応急給水活動について、車載タンクに給水し、被災地へ向かうことをイメージしている。タンク内の水質はどれほどの期間保持されるのか。	上下 水道局	応急給水活動では、車載タンクを空にした状態で被災地へ向かい、現地の配水池等で給水車に水を入れ、応急給水所等へ運搬する。そのため、水を長時間給水車に貯留することは無い。
A 委員	一般的に水道水の水質はどれほどの期間保持されるのか。	上下 水道局	直射日光の有無や温度など保管状況にもよるが、一般的には約3日間である。 災害等に備え、水道水を保管される際には、2～3日間（常温下）を目安に水の交換を推奨している。

<p>C 委員</p>	<p>和歌山市での事故対応であったにも関わらず、近隣の事業者ではなく、遠方の高岡市から応援を派遣することになったのは何故か。</p>	<p>上下 水道局</p>	<p>和歌山市で発生した水管橋崩落事故は被害規模が大きく、日本水道協会関西地方支部の応援のみでは対応しきれず、隣接する中国四国地方支部及び本県を含む中部地方支部に対し応援要請があったものである。 被災地への応援要請は日本水道協会の各地方支部・各都道府県支部を通じて行われ、今回は富山県から本市と富山市が現地で応急給水の支援を行った。</p>
<p>C 委員</p>	<p>高岡市にて和歌山市での水管橋崩落事故のような大事故が発生した場合には、どの地域の事業者から応援が派遣されることになっているのか。</p>	<p>上下 水道局</p>	<p>災害等により本市水道施設が被災した場合、まずは県内の水道事業者の応援を受けることになるが、被害が大きく、県内の事業者のみでは対応しきれない場合には、県外から日本水道協会を通じて全国の水道事業者からの支援を受けることになる。 日本水道協会に加盟する全国の水道事業者においては、災害等の相互応援に関して、強固な連携体制が築かれている。 本市においても、これまで阪神淡路大震災をはじめ、能登半島沖地震、新潟県中越地震、東日本大震災などの被災地に職員を派遣し、応急給水、応急復旧などの支援を行っている。</p>